



# まほうつ会新聞

発行日：2020年11月2日 №8



宮川理事長

これで

院内研修  
第10期スタート  
私たちが私たちらしく

毎朝冷え込む季節になってきました。この時期は例年歯・口の怪我が増えてくる時期です。朝の気温が低いと、起きたばかりでは体をうまく使うことができないことがその理由と考えられます。この時期こそ朝早く起きて、体を動かし、日中の活動に備えていきましょう。

特に脳の発育が旺盛な2歳前後のお子さんは、脳の重量が増加した分、昨日とは体の使い方が変わりますので、外に遊びに行く前に安全な場所で運動して、体の使い方の感覚を覚えるようにしていきましょう。

「私たちが私たちらしく働ける環境を創る」を掲げ、全スタッフが一丸となって第10期スタートしました。講師の先生を招いて医院内研修を通じて改めて目標を明確に出来き、気づき多いものとなりました。スタッフ一同邁進して参りますので更なる医療法人まほうつ会にご期待頂けたらと思います。そこで、スタッフへ感想、思いを聞きました。



講師  
深澤宗主先生

宮川理事長挨拶

10/8.9.10の3日間、i.standard研修を受けさせていただきました。

社会人1年目の時も受けさせていただいたのですが、正直よくわからずマイナス思考になっていました。

しかし3年目になり受けさせていただくと、1年目の時は感じ方が違い、プラスに捉えることができ、新たな気づきもあり成長を感じることができました。また、スタッフの想いを聞くことができ、嬉しかったです。モチベーションも上がり、自分を見つめることができとても充実した3日間になりました。なによりスタッフの成長のために学ぶ場を与えてくれる理事長先生に感謝しております。学んだことを生かし、仕事もプライベートも楽しんでいきたいと思います。（ルタン 歯科衛生士：林）



MFT  
「口呼吸」が  
もたらす影響！

みなさんこんにちは。MFTトレーニングを担当している福留です。今月のテーマは「口呼吸がもたらす影響」です。口呼吸や口ポカンは舌が下がることにより引き起こされます。

実は人間にあって舌はとても重要な器官で、舌が発達しないと、呼吸や嚥下、発音に問題が生じます。中でも口呼吸によるリスクは大きく、歯並びや顔つきへの影響だけでなく、低身長や肥満、場合によっては発達障害などを引き起こしてしまう可能性もあるのです。

子どもたちが口をポカーンと開けてテレビをみている姿はお母さんたちもよく見かけるのではないでしょうか？実はその口ポカンが身体に色々な影響を与えるだなんて驚きですよね！

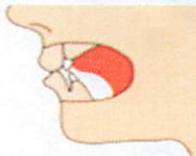
ほか~ん！



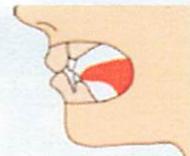
ここで問題です！！  
舌の正しいポジションは「A」と「B」どちらだと思いますか？



A



B



正解は『A』です！！

普段、私たちの舌は上あごにピタリとついていて前歯のすぐ後ろにあるというのが正しい舌の位置になります。舌が上あごについていることで正しい呼吸（鼻呼吸）が身につき、顎の成長も助けられます。

いつもお声掛けくださいね！

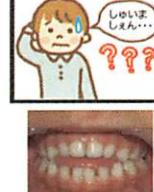


A



オッケー  
口から空気が入りにくい

「B」は口呼吸が癖になっている人の舌の位置です。  
舌が下がっている低位舌の状態になっており、舌の位置が低く前歯を押したり、奥歯の間に入り込んだりするため、舌足らずな発音になったり、歯並びが悪くなる原因になります。



みなさんは普段、どこ位置に舌を置いていることが多いですか？Bだった方は今日からAの位置に舌を置くことを意識して生活してみてください！！  
そして、口ポカンや口呼吸になっているお子さまがいらっしゃいましたら、リコール（定期検診）や治療の際にスタッフにお気軽にお声かけくださいね！



平日  
8:20~11:20  
13:20~17:40

土曜  
8:00~11:40  
13:40~17:20

午後診察  
①15:00~17:40  
②13:40~17:40

